

## 荊波橋～福野大橋

川崎橋よりも上流部の荊波橋や福野大橋の近辺でも川原に降りて観察できる場所があります。このあたりは、大雨の後に河道が変化することがあるので、どちらがより観察しやすい環境になっているかは、年や季節によって違ってきます。写真は2011年4月6日の河床の様子ですが、このときは、荊波橋では右岸側が使いやすく、福野大橋では左岸側が使いやすくなっていました。実際に観察に使うとしたら、事前に下見をして決めることになるでしょう。この付近の礫は、流紋岩質の白っぽい礫が多く、次に灰色の安山岩礫が多く見られます。ただし、表面がさびにより赤っぽくなっている石が多いので、ハンマーで割って中を調べないと石の種類がわかりにくいものもあります。なお、堤防上の道路がややせまいので、大型バスを使うときは、橋の手前の適切な場所で児童を下ろし、そこから歩いて河川敷へ行くことを考えた方がよいかもかもしれません。また、天候さえ安定していれば、基本的には増水にはそれほど神経質にならなくてよい川ですが、大雨の後は流路が変化したり、深みが生じている恐れもあります。児童には流れの速いところや深いところへいかないように注意を徹底して、安全に観察しましょう。

観察対象	河川中流部
観察できる人数制限	1クラスから2クラスがよい
流速の実験の安全性	比較的安全にできる
バス駐車スペース	大型のバスだと苦しい
トイレ	近くにはない



荊波橋付近の礫の種類



荊波橋上流側の川原のようす



荊波橋下流側左岸には階段がある



福野大橋上流側の川原のようす

